

『応用外語学報』投稿規定：日本語

論文の形式は以下の通りにして下さい。

一、書式

(一) 用紙：A 4 横書き。

(二) フォント：MS 明朝、Jpn Mincho。ただし、外国語が入る場合には、

MingLiU、標楷體（中国語）、**Times New Roman**（英語、ドイツ語）

を使って下さい。

(三) 中国語の英文表記はウェード・ジェイル式(Wade-Giles)または、ロー

ーマ**拼音**(Hanyu pinyin)方式を使って下さい。

(四) フォントサイズ：論文タイトル（14pt、ボールド、中央揃え）、著者名、職位及び所属（14pt、ボールド、中央揃え）、本文（12pt）、
標題（14pt、ボールドから順次12pt、ボールドへ遞減）、脚注（10pt）。

(五) 余白：用紙の上下に各3.17cm、左右に各2.54cmの余白をとる。但し、
表紙、裏表紙についてはこの限りではない。

(六) 行送り：1.5行間隔で文字をグリッド線（格子）の高さに合わせる。

二、摘要

(一) 位置：1 ページ目の著者名、職位・所属の下に、2 行空けて下さい。また、その下の本文もやはり 2 行空けて下さい。

1. 中国語の論文には中国語以外に英語の摘要も、日本語の論文には日本語以外に英語または中国語（あるいは両方）の摘要も付けて下さい。

また、英題、著者名、職位、所属の英文表記も含め論文の最終ページ（参考文献の後）に付けて下さい。

2. 原稿にはキーワード4語～6語をつける。各要旨の下に 2 行空けて記入する。

例（キーワード：明治時代、翻訳理論…。Keywords: Meiji Era, theories

of translation...)

(二) 字数：日本語摘要は摘要は1ページ以内、英文摘要は1ページ以内。

(三) フォント：「摘要(Abstract)」は14pt、ボールド。文章は1.5行間隔で文字をグリッド線（格子）の高さに合わせる。

三、本文

(一)：本文の長さは12ページ～25ページとする。（注、図表を含む）。

(二)：段落の始めは、1字空け、両端揃えとして下さい。

(三)：行送り：1.5行間隔で文字をグリッド線（格子）の高さに合わせる。

(四)：段落間には、空白行を置かないで下さい。

(五)：3行以上の引用は4文字分空けて独立段落として下さい。また、上下1行空けて下さい。

(六)：文献、新聞、各種文書、芸術作品（映画、演劇、楽曲、彫刻など）の名称には『』（二重括弧）を用いて下さい。

例：『吉田茂伝』、『朝日新聞』、『ベートーベン交響曲第9番』。

英文の場合は、アンダーラインかイタリックにして下さい。

例：The Western Canon 或The Western Canon.

(七)：論文、短曲、章名などには、「」（括弧）を用いて下さい。

例：「学而第一」

英文の場合には“double quotation marks”を用いて下さい。

例：“Reading after Freud”。

(八)：もし、括弧、二重括弧が重なった場合には、最も外側の括弧を優先して下さい。詳細は、以下の例を参照して下さい。

1. 書名の中に書名が含まれる場合：『「阿Q 正伝」の研究』。

2. 篇名に篇名が含まれる場合：「『学而第一』再論」。

(九)：本文に最初に使われた外国語（中国語を除く）の翻訳名を使う場合、原文を表記して下さい。例：

1. 人名：バイロン (George Gordon, Lord Byron)。
2. 書名：『ウエスタン・カノン』 (The Western Canon)。
3. 篇名：「フロイト読後記」 (Reading after Freud)。

(十)：その他の記号、例えば、引用符、省略記号などは、日本語フォントで
使用して下さい。

(十一)：ページ数は、ページ下中央に記載して下さい。ただし、表紙には記
入しないで下さい。

四、標題

本文の章と節はアラビア数字の 1. 2. 3. (下位分類は、1. 1 1. 2 1. 3、2. 1
2. 2...) を使って、“0”から始まらないようにして下さい。

五、脚注

- (一)：説明や討論に使い、文献だけの脚注は避けて下さい。
- (二)：形式は脚注とし、当該ページの下に記入して下さい。ワードの方式に
準じるようにして下さい。

六、参考文献

- (一) 論文には、参考文献を付けて下さい。形式は、各領域の規範・習慣に従
って下さい。例えば、語学、文学人文社会では、APA (American
Psychological Association Style)、MLA (Modern Language Association
Style) または Chicago Manual Style などです。
- (二) 参考文献が漢学研究の領域の場合、これらも、各領域の規範・習慣に従
って下さい。

例：

1. 漢字による表記例：

王安石（編選）、『唐百家詩選』、王雲五（主編）、台北：台湾商
務印書館、1968 年。

2. 英文の場合で、ローマ拼音と英文翻訳とし、漢文を付さない場合。

(1) ウェード・ジェイル式Wade-Giles :

Wang, An-shih, comp. Tang pai-chia-shih hsuan (Anthology of One Hundred Poets of the Tang). Ed. Wang Yun-wu. Taipei: Taiwan shang-wu yin-shu-kuan, 1968.

(2) ローマ拼音式 :

Wang, Anshi, comp. Tang baijiashi xuan (Anthology of One Hundred Poets of the Tang). Ed. Wang Yunwu. Taipei: Taiwan shangwu yinshuguan, 1968.

3. 英文の場合で、ローマ拼音に原文を加え、英語訳を付さない場合。

(1) ウェード・ジェイル式Wade-Giles :

Chi, Chen-huai 季鎮淮. “Han Yu te shih-lun ho shih-tso” 韓愈的詩論和詩作, in Chung-hua hsueh-shu lun-wen chi 中華學術論文集. Beijing: Chung-hua shu-chu, 1981.

(2) ローマ拼音式 :

Ji, Zhenhuai 季鎮淮. “Han Yu de shilun he shizuo” 韓愈的詩論和詩作, in Zhonghua xueshu lunwen ji 中華學術論文集. Beijing: Zhonghua shuju, 1981.

備考：原稿提出時、書式に従った投稿原稿3部(A4版印刷したもの)と電子ファイル(USBメモリに収納)の2種類を外語學院事務局へ提出する。郵送する場合は原稿の電子ファイルを電子メール(journal@nkust.edu.tw)に添付して提出した上、印刷された投稿原稿3部を外語學院事務局宛て(824高雄市燕巢區大學路1號)に送付する。本規定に従わない原稿は受理しない場合がある。

中国語投稿規定と異なる場合、中国語の「學報徵稿」に記載されたそれぞれの

掲載基準に準ずる。

なお、この日本語規定は、あくまでも参考です。中国語の「學報徵稿」と異なる場合は、「學報徵稿」の規定が優先します。—